

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成25年6月20日(2013.6.20)

【公表番号】特表2012-526052(P2012-526052A)

【公表日】平成24年10月25日(2012.10.25)

【年通号数】公開・登録公報2012-044

【出願番号】特願2012-508861(P2012-508861)

【国際特許分類】

C 0 7 C 57/30 (2006.01)

C 0 7 C 59/48 (2006.01)

C 0 7 C 59/52 (2006.01)

C 0 7 C 63/04 (2006.01)

C 0 7 C 61/39 (2006.01)

A 6 1 K 31/192 (2006.01)

A 6 1 P 7/00 (2006.01)

A 6 1 P 13/12 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

A 6 1 P 39/06 (2006.01)

C 0 7 D 257/04 (2006.01)

A 6 1 K 31/41 (2006.01)

A 6 1 P 9/00 (2006.01)

A 6 1 P 17/06 (2006.01)

A 6 1 P 1/00 (2006.01)

A 6 1 P 27/00 (2006.01)

A 6 1 P 21/00 (2006.01)

A 6 1 P 3/10 (2006.01)

A 6 1 P 9/10 (2006.01)

A 6 1 P 25/16 (2006.01)

A 6 1 P 25/28 (2006.01)

A 6 1 P 37/06 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 K 31/44 (2006.01)

C 0 7 D 213/55 (2006.01)

A 6 1 P 7/06 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 C 57/30 C S P

C 0 7 C 59/48

C 0 7 C 59/52

C 0 7 C 63/04

C 0 7 C 61/39

A 6 1 K 31/192

A 6 1 P 7/00

A 6 1 P 13/12

A 6 1 P 29/00

A 6 1 P 39/06

C 0 7 D 257/04 A

A 6 1 K 31/41

A 6 1 P 9/00

A 6 1 P 17/06

A 6 1 P 1/00
A 6 1 P 27/00
A 6 1 P 21/00
A 6 1 P 3/10
A 6 1 P 9/10
A 6 1 P 25/16
A 6 1 P 25/28
A 6 1 P 37/06
A 6 1 P 35/00
A 6 1 K 31/44
C 0 7 D 213/55
A 6 1 P 7/06

【手続補正書】

【提出日】平成25年5月1日(2013.5.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

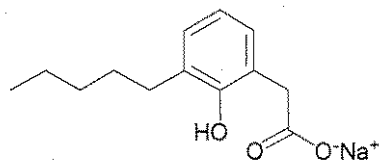
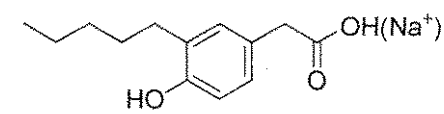
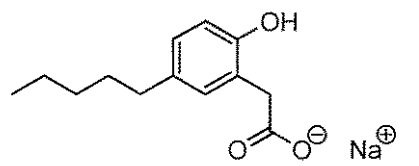
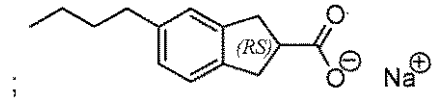
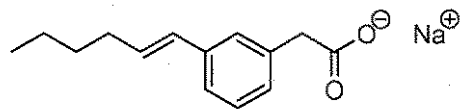
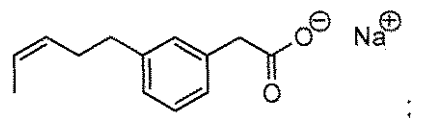
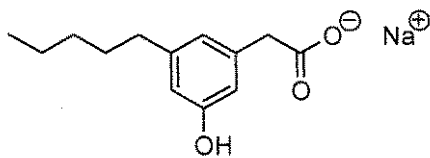
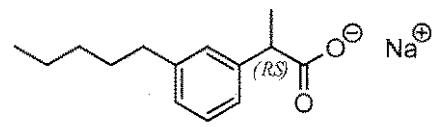
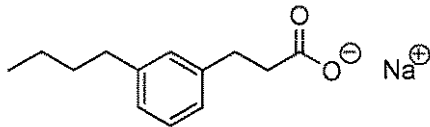
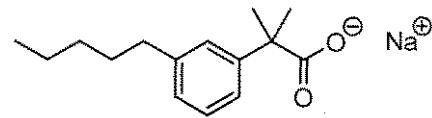
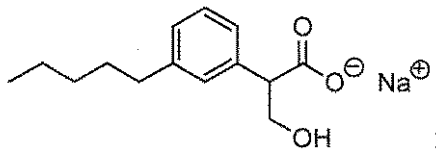
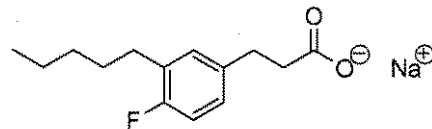
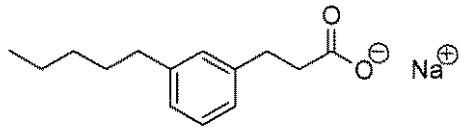
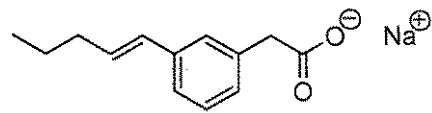
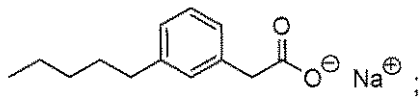
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

(i) 血液障害、(i i) 腎障害、腎症、および/または腎障害合併症、(i i i) 炎症関連疾患、ならびに(i v) 酸化ストレス関連障害からなる群から選択される病態を予防するおよび/または治療する際に使用するための、下記からなる群から選択される化合物：

【化 1】

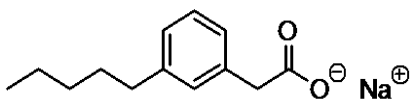


および

【請求項 2】

化合物が、

【化 2】

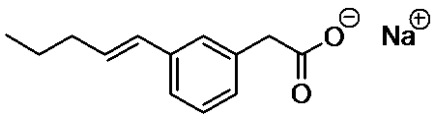


である、請求項 1 の化合物。

【請求項 3】

化合物が、

【化 3】

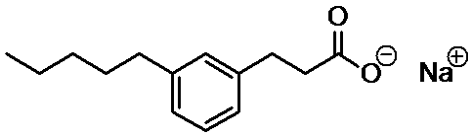


である、請求項 1 の化合物。

【請求項 4】

化合物が、

【化 4】

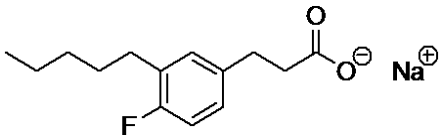


である、請求項 1 の化合物。

【請求項 5】

化合物が、

【化 5】

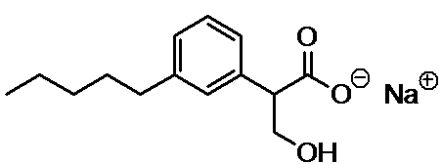


である、請求項 1 の化合物。

【請求項 6】

化合物が、

【化 6】

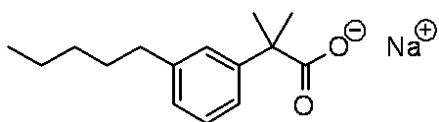


である、請求項 1 の化合物。

【請求項 7】

化合物が、

【化 7】

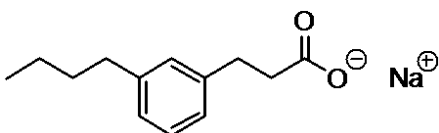


である、請求項 1 の化合物。

【請求項 8】

化合物が、

【化 8】

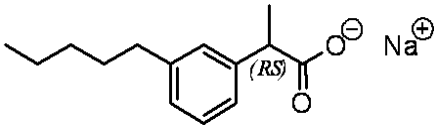


である、請求項 1 の化合物。

【請求項 9】

化合物が、

【化 9】

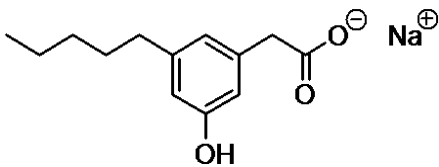


である、請求項 1 の化合物。

【請求項 10】

化合物が、

【化 10】

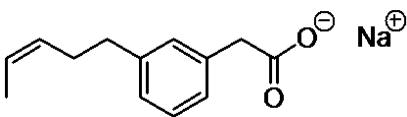


である、請求項 1 の化合物。

【請求項 11】

化合物が、

【化 11】

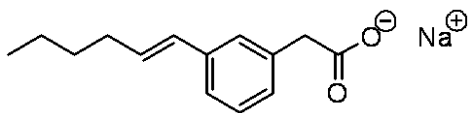


である、請求項 1 の化合物。

【請求項 12】

化合物が、

【化 12】

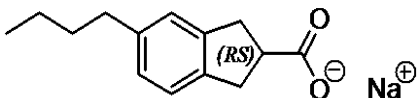


である、請求項 1 の化合物。

【請求項 13】

化合物が、

【化 13】

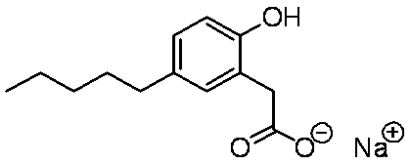


である、請求項 1 の化合物。

【請求項 14】

化合物が、

【化 1 4】

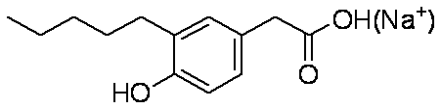


である、請求項 1 の化合物。

【請求項 1 5】

化合物が、

【化 1 5】

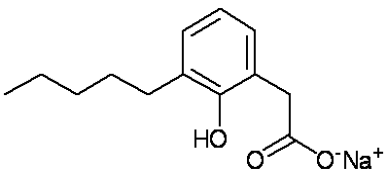


である、請求項 1 の化合物。

【請求項 1 6】

化合物が、

【化 1 6】

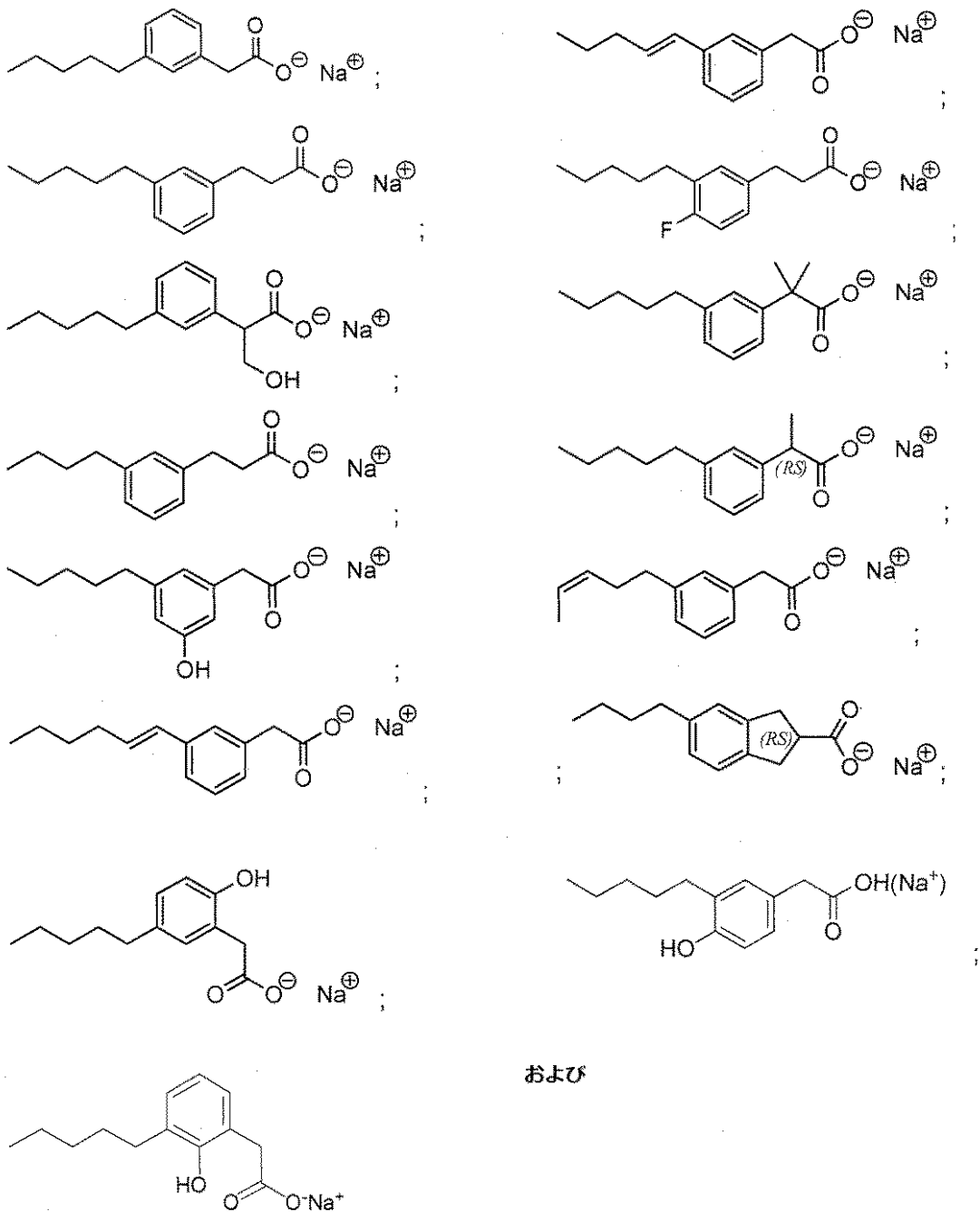


である、請求項 1 の化合物。

【請求項 1 7】

(i) 血液障害、(i i) 腎障害、腎症、および / または腎障害合併症、(i i i) 炎症関連疾患、ならびに (i v) 酸化ストレス関連障害からなる群から選択される病態を予防するおよび / または治療するための、下記からなる群から選択される化合物を含む医薬組成物：

【化 17】



および

【請求項 18】

前記血液障害が、貧血または好中球減少症である、請求項 17 に記載の医薬組成物。

【請求項 19】

対象における造血および/または赤血球新生を刺激するためのものである、請求項 17 に記載の医薬組成物。

【請求項 20】

前記腎障害が、腎症である、請求項 17 に記載の医薬組成物。

【請求項 21】

化学療法剤による治療から生じる毒性作用に対する腎臓保護のためのものである、請求項

17に記載の医薬組成物。

【請求項22】

対象におけるクレアチニンのクリアランスおよび/または尿酸のクリアランスを改善するためのものである、請求項17に記載の医薬組成物。

【請求項23】

改善を必要とするヒト対象において腎機能を改善するためのものである、請求項17に記載の医薬組成物。

【請求項24】

前記炎症関連疾患が、免疫介在性炎症性疾患または自己免疫疾患である、請求項17に記載の医薬組成物。

【請求項25】

前記炎症関連疾患が、関節炎、全身性エリテマトーデス(SLE)、特発性血小板減少性紫斑病(ITP)、糸球体腎炎、血管炎、乾癬性関節炎、乾癬、クローン病、炎症性腸疾患、強直性脊椎炎、シェーグレン症候群、ステイル病、ブドウ膜炎、強皮症、筋炎、ライター症候群、およびウェーゲナー症候群からなる群から選択される、請求項17に記載の医薬組成物。

【請求項26】

前記酸化ストレス関連障害が、心疾患、癌、糖尿病、関節炎、アテローム性動脈硬化症、パーキンソン病、心不全、心筋梗塞、アルツハイマー病、慢性疲労症候群、または自己免疫疾患からなる群から選択される、請求項17に記載の医薬組成物。

【請求項27】

前記腎障害が、腎摘出、化学療法、高血圧症、糖尿病、うっ血性心不全、狼瘡、鎌状赤血球貧血、炎症性、感染性、自己免疫疾患またはHIV関連腎症である、請求項17に記載の医薬組成物。

【請求項28】

前記腎障害が、腎臓移植、腎症、慢性腎臓病(CKD)、糸球体腎炎、多発性嚢胞腎、腎肥大症、ネフロゼ症候群、末期腎疾患(ESRD)、急性腎不全、慢性腎不全、間質性疾患、腎炎、硬化症、硬結、組織および/または血管の硬化、腎線維症、腎瘢痕および腎関連増殖性障害である、請求項17に記載の化合物。

【請求項29】

前記腎症が、腎臓線維症、糸球体線維症、慢性腎不全、高血圧性腎症、糖尿病性腎症、鎮痛薬性腎症、免疫媒介型糸球体腎炎、IgA腎症、ベルガー病、ループス腎炎、虚血性腎症、HIV関連腎症、膜性腎症、糸球体腎炎、糸球体硬化症、造影剤誘発性腎症、中毒性腎症、鎮痛剤誘発性腎毒性、シスプラチン腎症、移植腎症、糸球体異常、糸球体損傷、糸球体毛細管損傷または尿細管線維症である、請求項17に記載の医薬組成物。

【請求項30】

前記腎障害合併症が、血管疾患、大血管合併症、微小血管合併症、心疾患、動脈硬化症、アテローム性動脈硬化症、冠状動脈疾患、うっ血性心不全、心臓発作、狭心症、虚血性心疾患、心筋梗塞症、糖尿病性脂質異常症、高脂血症、高コレステロール血症、高トリグリセリド血症、高リポタンパク血症、メタボリック症候群、肥満、貧血、浮腫、膵炎、骨のもろさ、低栄養状態、および神経損傷である、請求項17に記載の医薬組成物。

【請求項31】

前記腎症が、肝細胞アポトーシス、線維症、硬化症または血管領域におけるタンパク質の蓄積である、請求項17に記載の医薬組成物。

【請求項32】

前記腎障害が、腎線維症である、請求項17に記載の医薬組成物。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0046

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0046】

本明細書で使用される時、「アルキル」という用語は、具体的数の炭素原子を有する分枝鎖および直鎖飽和脂肪族炭化水素基の両者を含むことが意図され、例えば、 $C_1 - C_6$ アルキルにあるような $C_1 - C_6$ は、線状または分枝配列内に1、2、3、4、5、または6個の炭素を有する基を含むものとして定義され、または例えば、 $C_1 - C_4$ アルキルにあるような $C_1 - C_4$ は、線状または分枝配列内に1、2、3、または4個の炭素原子を有する基を含むものとして定義される。上に定義されるアルキルの例としては、メチル、エチル、*n*-プロピル、*i*-プロピル、*n*-ブチル、*t*-ブチル、および*i*-ブチルが挙げられるが、それらに限定されない。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0082

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0082】

本発明はさらに、腎障害合併症を予防するおよび/または治療するための方法、化合物、および組成物に関する。「腎障害合併症」という用語は、腎障害、健康状態、事故、またはその重症度において悪化する可能性がある腎障害の経過中に生じるマイナスの反応と関連する続発性病態を指す。「腎障害合併症」は、通常、症状または病理学的変化を患う対象における腎疾患の重症度の増加に関連し、それは身体全体にまん延するか、または他の臓器系に影響を及ぼす可能性がある。本明細書で使用される時、「腎障害合併症」という用語は、血管疾患（例えば、大血管合併症、微小血管合併症等）、心疾患（例えば、動脈硬化症、アテローム性動脈硬化症、冠状動脈疾患、うっ血性心不全、心臓発作、狭心症、虚血性心疾患、心筋梗塞等）、糖尿病性脂質異常症、高脂血症（例えば、高コレステロール血症、高トリグリセリド血症、高リポタンパク血症）、メタボリック症候群、肥満、貧血、浮腫、膵炎、骨のもろさ、低栄養状態、および神経損傷を包含するが、それらに限定されない。